地蔵菩薩

 地蔵菩薩のこの描写は、座位で彫られています。地蔵菩薩は、母子や旅人などの守護者です。彼はまた、流産、失産、死産などの亡くなった子供の救済者とも考えられています。伝承によれば、地蔵菩薩は鬼から子供を守るために衣の中に彼らをかくまったといいます。

地蔵菩薩は旅する僧侶として典型的に描かれており、このことは彫像がその右手に錫杖、伝統的な僧侶の杖を持っているように強調されています。杖には、もとは僧侶が旅や托鉢に出るときに持ち、山野の害獣や毒虫を音で追い払い、托鉢では村里に近づいたときに来訪の合図として使った。他の地蔵菩薩と同様に、この描写は左手に宝珠(神聖な願望を満たす宝石)を持ち、祈りを捧げます。

この地蔵菩薩像は木造で、高さ1.23 m、浮彫の広い光背を伴っています。平安時代後期(794年~1185年)の11世紀にさかのぼります。